

令和3年度 木曾三川連合総合水防演習・ 広域連携防災訓練

どんなときも

災害は止まらない!!

5月23日(日) 9:00~12:00

YouTubeにてLive配信

詳しくはHPをご参照ください



<https://www.youtube.com/channel/UCSOKTELZR98zv6nvlVQyleQ>

モノクロ写真:1959年(昭和34年)伊勢湾台風時の被害状況

演習会場へは関係者以外の立入りはできません

パソコン・スマートフォン等、インターネット通信可能な機器でご視聴ください

メイン
会場

三重県桑名市長島町長島運動公園
(三重県桑名市長島町押付地先)

サテライト
会場

四日市港
(三重県四日市市)

主催 国土交通省中部地方整備局、三重県、愛知県、岐阜県、桑名市、木曾岬町、四日市港管理組合

協賛 全国水防管理団体連合会、(公社)日本河川協会、(公財)河川財団、(一財)河川情報センター、(一社)中部地域づくり協会

協力 内閣府(科学技術・イノベーション担当)、中部運輸局、気象庁名古屋地方気象台、津地方気象台、岐阜地方気象台、国土地理院中部地方測量部、陸上自衛隊第10師団、陸上自衛隊第33普通科連隊、海上保安庁、日本赤十字社三重県支部、三重県警察本部、いなべ市、桑名市消防本部、海津市消防本部、海部地区水防事務組合、桑名市消防団、木曾岬町消防団、いなべ市消防団、大治町消防団、飛島村消防団、(地独)桑名市総合医療センター、(一社)日本建設機械施工協会、(一社)三重県建設業協会桑名支部、(一社)リバーテクノ研究会、(公社)全国土木コンクリートブロック協会、中部地方防災エキスパート、(株)シー・ティー・ワイ、(一社)日本海上起重技術協会中部支部、(一社)三重県トラック協会(予定含む・順不同)

後援 (一社)建設広報協会、(一社)三重県測量設計業協会、三重県消防協会、(一社)三重県社会基盤整備協会

※演習当日は会場周辺で交通規制をおこないます。車両通行止区間では迂回等のご協力をお願いします。

お問合せは…国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所 TEL 0594-24-5715





<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>



5月は水防月間です。

令和3年度木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練

主な演習プログラム

<p>9:00</p> <p>9:25</p> <p>大雨警報発令・高齢者等避難発令</p> <p>避難判断水位</p> <p>氾濫危険水位</p> <p>避難指示の発令</p>	<p>開会式</p> <p>演習開始の号令、演習想定、気象情報提供 TNT情報共有本部の設置、災害対策本部の設置、合同記者会見 要配慮者利用施設避難訓練、府省庁連携防災情報共有システム 水防準備(土のう拵え)</p> <p>災害対策本部体制の切替、高潮・高波浸水予測 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からの要請、河川巡視</p> <p>水防工法①[洗掘防止対策] ●竹流し工 中小河川の水位上昇に関する情報共有 自治体へのリスク情報提供、防災エキスパートによる災害報告 漏水情報ホットライン(危険水位+漏水)</p> <p>防潮扉の閉鎖、荷役機械の転倒防止※ 水防工法②[漏水防止対策] ●月の輪工 ●釜段工 排水ポンプ車出動要請</p> <p>水防工法③[越水防止対策] ●積み土のう工 ●改良積み土のう工 ●三角水のう工 堤防決壊情報ホットライン、ヘリによる被災状況調査 TEC-FORCE派遣、DIMAPSによる被害状況の報告 排水ポンプ車による排水作業(チューブ ハイドロポンプ作戦) 道路啓開、決壊堤防の荒締め切り</p> <p>被災状況調査(海上・上空)※ トリアージ・医療救護活動 航路啓開(作業船による浮遊物の揚収)※ 遠隔操作式重機の操作 緊急物資の海上輸送、緊急物資の輸送※</p> <p>閉会式</p>	 <p>水防工法(釜段工)</p>  <p>TEC-FORCE派遣</p>  <p>道路啓開</p>  <p>決壊堤防の荒締め切り</p>
<p>10:00</p> <p>大雨特別警報の発令</p> <p>木曾川浸透破壊(漏水)による氾濫発生</p>	<p>11:00</p> <p>遠隔操作式重機の操作</p>	<p>12:00</p> <p>※はサテライト会場(四日市港)で実施 注)プログラムは変更、中止する場合があります。</p>

●● 水防に対する取組み・組織について紹介します ●●

木曾三川における洪水被害

木曾三川が流れる濃尾平野は、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯であり、昭和34年9月の伊勢湾台風をはじめ歴史的な大災害に見舞われてきた地域でもあります。近年では、地球規模での気候変動に伴い、局地的な集中豪雨の頻発や台風の大型化、スーパー伊勢湾台風の襲来など、これまでの洪水等に対する想定を上回る大災害の発生リスクが高まっています。

広域避難実現プロジェクト



大規模水害時の犠牲者ゼロを目指して浸水想定区域外への自主的な早期避難を促す「自主的広域避難情報(広域避難の呼びかけ)」を図ります。また今後は逃げ遅れた住民の緊急体制の確立や要援護者の避難といった課題を進めていきます。

TEC-FORCE (テックフォース: 緊急災害対策派遣隊)



国土交通省では被災した地方公共団体を支援するため、緊急災害対策派遣隊(テックフォース)を組織しています。被災地域の地方公共団体が、十分な災害対策を講じることが困難となるような大規模自然災害等において出動します。

水防団・消防団の活躍



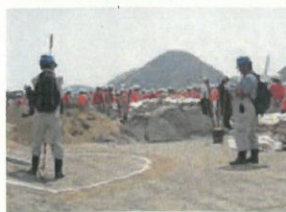
水防団・消防団は、台風や集中豪雨により洪水の恐れが生じた場合に出勤し、河川の警戒にあたります。また、増水や堤防に被害が生じた場合、状況に合わせた水防工法を行い、被害拡大を防ぎます。

河川管理者と水防団・消防団との意見交換



迅速かつ的確な水防活動を実施していくために、水防団・消防団の取組み実態や現場での課題、今後の活性化に向けた取組み等について、各自治体の水防担当者、水防団・消防団等との意見交換会を開催しています。

防災エキスパート



公共土木施設の整備・管理等について専門的ノウハウを持つエキスパートで構成され、災害が発生した場合に、自主的に公共土木施設等に関する被災状況把握及び応急対策に対する防災協力活動をボランティアとして実施します。